

2004年8月16日

【イベント情報】

タワーレコード株式会社

タワーレコード フリーマガジン『intoxicate』企画制作イベント第13弾
intoxicate_13 ~ Genesis of the Song from N.Y.City
2004年9月15日(水)開催決定!!
~フェルナンド・ソーンドース、ブランドン・ロスがライブ出演~

タワーレコード株式会社(本社:東京都品川区/代表取締役社長:森脇明夫)では、2004年9月15日(水)に、同社フリーマガジン『intoxicate(イントキシケイト)』¹の企画制作イベント第13弾「intoxicate_13 ~ Genesis of the Song from N.Y.City」をCAY(レストランBAR・SPIRAL B1F/南青山)にて開催します。

「intoxicate_13」²は、フリーマガジン『musée(ミュゼ)』の『intoxicate』への誌名リニューアル後第1弾のイベントとなります。今回はニューヨークで活躍するアーティスト達を招き、“Genesis of the Song from N.Y.City”をテーマにライブを繰り広げます。

注目の出演アーティスト³は、ルー・リードを伴奏する、ベース&ボーカルの**フェルナンド・ソーンドース**。そして、カサンドラ・ウィルソンのグラミー賞アルバム「ニュー・ムーン・ドーター」をディレクションしたことで有名な**ブランドン・ロス**。アメリカの音楽シーンを支える2組のアーティストが来日します。シカゴ・アンダーグラウンドの次に、ニューヨーク・アンダーグラウンド再燃を予感させるこの組み合わせは、ニューヨークですら実現したことがありません。この2つの才能を集めたスペシャル・イベントが、『intoxicate』によって実現します。

次回は2004年11月に開催を予定しています。

1 フリーマガジン『intoxicate(イントキシケイト)』

クラシック・ジャズを中心に紹介するフリーマガジン。2004年8月に創刊51号を期に『musée(ミュゼ)』より『intoxicate』に誌名変更し、リニューアル。隔月(偶数月20日)刊。当初から国内では紹介される機会のなかった分野の音楽情報を掲載し、若い評論家、若いリスナーから熱烈な支持を受け、今日に至る。現在では音楽以外の情報(映画、本、伝統芸能など)に加え、ユニークな連載記事(依孝太郎の“クラシックな人々”“四コマの鉄人 人コマゴマ”など)を掲載するなど、単なる情報誌という枠を超えて、読み物として楽しむ読者も多い。音楽を基本テーマとして、様々な話題を取り上げるという編集方針により、世代を超えた読者にアプローチしている。1999年にはECMというレーベルの30周年にあわせて、独自のイベントを企画、話題となりライブ・イベント「intoxicate」開催へと続く。

2 ライブ・イベント「intoxicate(イントキシケイト)」

フリーマガジン『intoxicate』のコンセプトをそのまま具現化し、2001年12月からスタートしたイベント。イベントに登場するアーティストや音楽についても、『intoxicate』の編集方針に沿って、ジャンルやカテゴリー、有名無名にとらわれず、様々なキャスティング、セレクトを行なう。このイベントを通して、タワーレコードのユーザーに対し、既存の価値観では捉えにくい視点、既存の価値観では生まれにくい好奇心をかき立てる場を提供することにより、更なる音楽への興味・関心を促す。今後も更に発展させた形で年6回、隔月での開催を予定し、20代後半から40代後半をターゲットに、大胆な企画を行なっていく。

3 レーベル「intoxicate records」(イントキシケイト レコード)

フリーマガジン『intoxicate』と連動し、タワーレコードのグループ会社であるNMNLが制作を行なうレーベル。『intoxicate』の編集コンセプト同様、新しい音楽コンテンツのあり方と、洋邦問わず、クオリティ(付加価値)の高い音楽を提案していく。ライブ・イベント「intoxicate_13 ~ Genesis of the Song from N.Y.City」に出演するFernando SaundersとBrandon Rossの作品をリリースする。

今回出演のアーティストの作品は、レーベル「intoxicate records」からリリースされます。

リリース作品は、3ページ目をご参照ください。

「intoxicate」:「...を酔わせる」「...を熱狂させる」の意。

■ ■ イベント詳細 ■ ■

名 称：intoxicate_13 ~ Genesis of the Song from N.Y.City

日 時：2004 年 9 月 15 日（水）

18：30 / オープン 19：30 / スタート

場 所：CAY（SPIRAL B1F）

（東京都港区南青山 5-6-3 SPIRAL B1F）

出演アーティスト：Fernando Saunders Group（フェルナンド・ソーンドース・グループ）

Brandon Ross “COSTUME” Band（ブランドン・ロス “コスチューム” バンド）

上記アーティストのプロフィールは別紙をご参照下さい。

チケッ ト：前売 ¥3,300（税込） 当日 ¥3,800（税込）

下記店舗およびプレイガイドにて発売中

- ・チケットぴあ（0570-02-9999・Pコード：179-694） チケットぴあのみ 8/20 より発売
- ・ローソンチケット（0570-06-9999・Lコード：36604）
- ・タワーレコード渋谷店 5F
- ・タワーレコード新宿店 9F
- ・CAY（03-3498-7840）

お問合せ：CAY 03-3498-7840 E-mail：cay@spiral.co.jp

主 催：タワーレコード株式会社

企画制作：株式会社NMNL

協 賛：株式会社コルグ / パール楽器製造株式会社 / ヤマハ株式会社

会場協力：株式会社ワコールアートセンター

- 「intoxicate」特設サイト：<http://intoxicate.jp/>



メインビジュアル



フェルナンド・ソーンドース



ブランドン・ロス

お問合せ

タワーレコード株式会社 人事・総務部 広報グループ

TEL：03-3496-5009 FAX：03-3496-5727 E-mail：press@tower.co.jp

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-21-1 日本生命渋谷ビル9F

別紙：アーティスト プロフィール

■ フェルナンド・ソーンドース Fernando Saunders

デトロイト出身。ベーシスト、シンガー、ソングライター。20代にデトロイトから活動の地をニューヨークに移し、ジョン・マクラフリンのマハビシュヌ・オーケストラに参加、やがてジェフ・ベック、ヤン・ハマー・グループなどから誘いを受け、ロック、ジャズ・シーンで名声を得るようになる。こうした活動を通じルー・リードと知り合い、ルー・リードのアルバム制作に参加。彼の音楽性は高く評価され、以後ルーのアルバムではコ・プロデューサーとしてクレジットされるようになる。マリアンヌ・フェイスフル、スティーヴ・ウィンウッド、エリック・クラプトン、ジミー・ペイジ、ジョン・パエズ、パット・ベネター、ハートのツアー、アルバム制作に参加、現在もポップス、ロックの中心で活動をしている。昨年のルー・リードのライブでは、彼のオリジナル(ラヴィアン・シェリ)がフィーチャーされ大きな話題を呼んだ。今年のカジノロックフェスティバルにもルー・リード・バンドで出演。

Fernando Saunders (bass/vocal)

J.T.Lewis (ds)

Guitarist T.B.A.

Philip Woo (key)

■ ブランドン・ロス Brandon Ross

ギタリスト、シンガー、作曲家。カサンドラ・ウィルソンのグラミー受賞アルバム「ニュー・ムーン・ドーター」をディレクションした音楽家として知られる。70年代のロフトジャズ・ムーブメントを経由、ニューヨークとシカゴが混ざり合う熱いジャズのコアで育つ。ソプラノ・ギターと呼ばれるギターを使い、特殊な音楽空間を造り出す。アーリー・ブルース、MPB、シカゴジャズの香りが混ざり合うエキセントリックなスタイルは、キップ・ハンラハン、ミシェロ・ンデゲオチェロといったアーティスト、9.11以降のインテリジェンスを刺激する。今、注目のアーティスト。

9月6日(月)～11日(土)は、カサンドラ・ウィルソンのバンド・メンバーとしてブルーノート東京に出演。今秋、intoxicate records よりアルバム「COSTUME」をリリース予定。

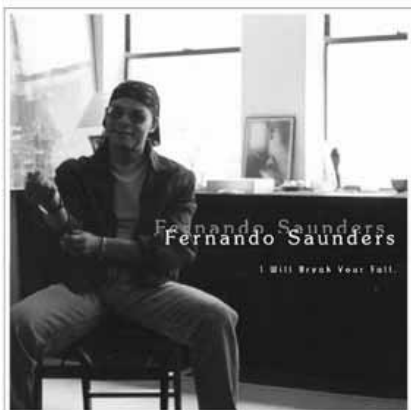
Brandon Ross (g)

Ron Miles (tp)

Tsutomu Takeishi (bass)

J.T.Lewis (ds)

< CD リリース情報 >



「I will break your fall」 FERNANDO SAUNDERS
(intoxicate records intx-1002)



「COSTUME」 BRANDON ROSS
(intoxicate records より今秋発売予定)